

2024年11月18日

国立大学法人佐賀大学  
株式会社 HIROTSU バイオサイエンス

## 線虫がん検査「N-NOSE」に関する 共同臨床研究開始のご報告

国立大学法人佐賀大学（所在地：佐賀県佐賀市本庄町、学長：兒玉浩明）と株式会社 HIROTSU バイオサイエンス（本社所在地：東京都千代田区、代表取締役：広津崇亮／以下、HBS）は、線虫がん検査「N-NOSE（エヌノーズ）」に関する共同臨床研究を開始しましたので、お知らせいたします。

本研究は、佐賀大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座（教授：杉山庸一郎／以下佐賀大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）と HBS が「舌がんにおける線虫がん検査（N-NOSE）の基礎検討」を題目として共同臨床研究を行うものです。

佐賀大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、咽頭や喉頭、鼻腔そして口腔におけるがんの集学的治療を行っています。舌がんは鏡を見て早期発見されることが多々ありますが、進行した状態で受診されることがあります。さらに急速に進行しリンパ節への転移をきたす症例もあります。舌は、味覚や嚥下そして会話の機能により、質の高い日常生活にはかせないものです。舌がんは口腔がんの大半を占めており生涯にわたって早期発見が重要となります。本研究では舌がん「N-NOSE」の関係を検討することで舌がんの早期発見への「N-NOSE」の可能性を探求します。

HBS は、少量の尿から全身網羅的にがんのリスクを調べる、線虫がん検査「N-NOSE<sup>®</sup>」を開発し 2020 年 1 月に実用化しました。この検査は線虫の優れた嗅覚を利用し、簡便・高精度・安価の利点を有することから、先ず、はじめに受けるがん検査に適していると言えます。がんは早期発見・早期治療することができれば 9 割以上が助かると言われていますが、日本のがん検診受診率は対象者の約 50%に留まっており、これは諸外国に比べて非常に低くなっています。HBS は「N-NOSE」によるがんのリスク判定が普遍的となる環境を創ることで、がんに対する意識を高め、ひいては検診の受診率向上により、がんの早期発見・早期治療が進むことを目指しています。

今後、両者は「N-NOSE」が舌がんスクリーニング検査として有用になることを目指し、本研究に取り組んでまいります。

\* N-NOSE は株式会社 HIROTSU バイオサイエンスの登録商標です。

【本件に関する問い合わせ先】

国立大学法人佐賀大学 広報室

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1

TEL: 0952-28-8153

E-mail:sagakoho@mail.admin.saga-u.ac.jp

-

株式会社 HIROTSU バイオサイエンス 広報担当

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 22F

TEL: 03-6849-6276

E-mail : press@hbio.jp